

ID

患者氏名 _____ 様

病名 _____





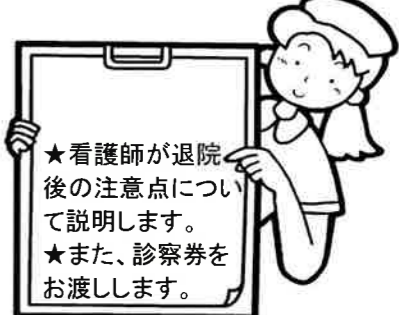
予想される入院期間 1週間前後

主治医 _____

説明医 _____

立会い看護師等 _____

入院予定表

	入院日 ()	2日目～	退院日	
治療	点滴を持続して、必要な水分、電解質、糖분을補給します。 症状、検査の結果次第で抗生剤の投与します。 酸素投与や吸入治療を行うことがあります。 咳や痰（たん）などの床をよわらげる飲み薬を使います。 症状に合わせて炎症止めの薬を使うことがあります	点滴が漏れてしまった場合は、 刺し直すことがあります。 抗生剤を変更することが あります。	熱が下がり水分が摂れるよう になったら、点滴は減らして中止し ます。 抗生剤を飲み薬へ変更することがあります。	※酸素を使用している間は 退院できません。
検査	血液検査 尿検査 胸部レントゲン	必要に応じて血液検査やレントゲン検査を繰り返します。 病状や経過によっては検査を追加することがあります。		
日常的な検査	体温、脈拍、血圧等を測りに伺います。 体重を測ります。 便/尿の回数や量を記録します。			
食事/栄養	食事は離乳食、幼児食、学童食などが年齢にあわせて出ます。 ※アレルギーがある際は申し出て下さい。	病気の症状や食事の様子で 食事の内容が変わることがあります。		
安静度/運動	症状が落ち着くまではベッド上で安静にしてください。	許可が出ればプレイルームで遊べます。		
トイレ	トイレに歩いて行けます。点滴の管に注意して下さい。 (持続点滴中は普段より尿量が増えることがあります。)			
清潔	清拭（体を拭きます） 昼間に看護師がお手伝いします。	点滴がとれ許可が出ればシャワー 可能です。		
説明	レントゲンで肺炎像があり、発熱が続き、元気がなくなってきたため、 入院しました。体に必要な水分や電解質、エネルギーを点滴で補給しな がら、抗生剤や飲み薬で症状を和らげる治療をします。呼吸状態が悪化 した際には酸素投与を、咳がひどいときには吸入治療を追加します。熱 が下がり呼吸状態が改善し、元気が出てくれば、咳、鼻汁などの症状が 多少残っていても退院とします。入院期間は1週間前後を予定していま す。	 分からないこと など、何でも結 構ですので、看 護師にお声か けください。	 ★看護師が退院 後の注意点につ いて説明します。 ★また、診察券を お渡しします。	
ご希望・ご要望 があればご記入 下さい。				

上記の内容について説明を受けました。

患者氏名 _____

家族氏名（続柄 _____）

（自筆の場合、押印は不要です。）

040090XXXXXX-0804-4.1

0400801199X00X-0804-4.1

04007XXXXXX-0804-4.1



前橋赤十字病院
 MAEBASHI RED CROSS HOSPITAL